平成１９年度全国学力・学習状況調査の結果について

１　調査の概要

（１）目　的

○　全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○　各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。

（２）調査期日　　　平成１９年４月２４日（火）

（３）４月２４日に調査を実施した学校数・児童生徒数

学　年	学 校 数	児童生徒数
小学校第６学年	市町立小学校　３２４校 特別支援学校　１校	児　童 １２，９１６人
中学校第３学年	県市町立中学校　１６０校 中等教育学校　１校 特別支援学校　３校	生　徒 １２，４４０人

（４）調査内容

①　教科に関する調査（国語、算数・数学）

　　問題Ａ…主として「知識」に関する問題

　　問題Ｂ…主として「活用」に関する問題

②　生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

　　ア　児童生徒に対する調査【小…９９項目　中…１０１項目】

　　イ　学校に対する調査【１０５項目】

２　結果概要(県市町立学校)

（１）教科に関する結果

①　全体の結果

○　「知識」に関する問題については、相当数の小中学生が今回出題した学習内容を理解しているが、「活用」に関する問題については、「知識」に関する問題に比べて正答率が低く、山口県学力調査（H17・18）の結果と同じ傾向がみられた。

○　山口県の平均正答数を全国と比べると、中学校では上回り、小学校では下回っているが、大きな差はみられなかった。

※全国との平均正答数の差…（小学校）－0.9問（全61問）　（中学校）＋1.3問（全100問）

②　教科ごとの結果

○　小学校国語

漢字の読みや接続語の使い方などの基礎的な事項はよくできているが、内容を要約することや２つの文章を比較して読み取ることなどに課題がある。

○　小学校算数

基礎的な計算や三角形等の面積を求めることなどはよくできているが、問題を筋道を立てて解決することなどに課題がある。

○　中学校国語

話の内容を正確にとらえることや敬語を適切に使うことなどはよくできているが、身近な情報を読み取りその違いを説明することなどに課題がある。

○　中学校数学

基礎的な計算などはよくできているが、式の意味を説明したり関数を使って問題を解くことなどに課題がある。

（２）生活習慣や学習習慣に関する結果

朝食を毎日食べること、早く起きること、外遊びや運動することについては、全国と比べて、望ましい生活習慣が身に付いているが、学校の授業時間以外での学習時間については、全国に比べて少ない傾向がみられる。

（３）今後の対応

県教委・各市町教委・各学校において、調査結果の分析及び実態の把握を行う。各学校は、実態に基づいて学力向上プランの見直しを図り、県・市町教委はその見直しを支援し、今後の学力の向上を図る。

1　参考データ等

（１）全体的な結果

	総問題数（問）	平均正答数（問）		
		山口県	全　国	全国との比較
小学校	６１	４４．５	４５．４	－０．９
中学校	１００	７４．９	７３．６	＋１．３

・「知識」に関する問題

		平均正答数（問）		平均正答率（%）	
		山口県	全　国	山口県	全　国
小学校	国語Ａ	14.5／18	14.7／18	80.6	81.7
	算数Ａ	15.3／19	15.6／19	80.5	82.1
中学校	国語Ａ	30.6／37	30.2／37	82.7	81.6
	数学Ａ	26.4／36	25.9／36	73.3	71.9

・「活用」に関する問題

		平均正答数（問）		平均正答率（%）	
		山口県	全　国	山口県	全　国
小学校	国語Ｂ	6.0／10	6.2／10	60.0	62.0
	算数Ｂ	8.7／14	8.9／14	62.1	63.6
中学校	国語Ｂ	7.3／10	7.2／10	73.0	72.0
	数学Ｂ	10.6／17	10.3／17	62.4	60.6

２　各教科の課題等

（１）小学校国語

○　国語Ａについて、児童の平均正答率が８０．６％であり、相当数の児童が今回出題している学習内容を理解していると考えられる。

【相当数の児童ができている点】

- 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を読むこと
- 文と文とのつながりを考え、接続語を正しく使うこと
- 文章の中で、指示語が示す内容を読み取ること

○　国語Ｂについて、児童の平均正答率が６０．０％であり、知識・技能を活用する力に課題がある。

【課題のある点】

- 説明文で述べている内容を読み取り要約すること
- 資料を読み取り、与えられた条件に即して書き換えること
- 二つの文章の共通点を見つけること

（２）小学校算数

○　算数Ａについて、児童の平均正答率が８０．５％であり、相当数の児童が今回出題している学習内容を理解していると考えられる。

【相当数の児童ができている点】

- 整数、小数、分数のたし算、引き算、かけ算などの基礎的な計算をすること
- 平行四辺形と三角形の面積を求めること
- 平行四辺形の定義や性質を理解すること

○　算数Ｂについて、児童の平均正答率が６２．１％であり、知識・技能を活用する力に課題がある。

【課題のある点】

- 百分率（％）の考え方などを用い、筋道を立てて問題を解決すること
- 地図から必要な数値を見つけ、面積を比較すること
- 二つの式を比較し、計算結果の大小を判断すること

（３）中学校国語

○　国語Ａについて、生徒の平均正答率が８２.７％であり、相当数の生徒が今回出題している学習内容をおおむね理解していると考えられる。

【相当数の生徒ができている点】

- 電話の内容から、必要な事柄を正確にとらえること。
- 慣用句や四字熟語など語句の意味を理解して適切に使うこと。
- 生活の場に応じて敬語を適切に使うこと。

○　国語Ｂについて、生徒の平均正答率が７３.０％であり、知識・技能を活用する力を更に身に付けさせる必要がある。

【課題とされる点】

- 資料を読み取り、必要な事柄や自分の考えを明らかにして書くこと。
- 文章を比較して、共通して書かれている情報を読み取ること。

（４）中学校数学

○　数学Ａについて、生徒の平均正答率が７３．３％であり、相当数の生徒が今回出題している学習内容をおおむね理解していると考えられる。

【相当数の生徒ができている点】

- 負の数や指数を含む基礎的な計算をすること
- 一元一次方程式を解くこと
- 樹形図や表などを利用して場合の数を求めること

○　数学Ｂについて、生徒の平均正答率が６２．４％であり、知識・技能を活用する力に課題がある。

【課題のある点】

- 文字を使って表された式の意味を説明すること
- 理科の実験から予想できる数値を一次関数を使って求めること

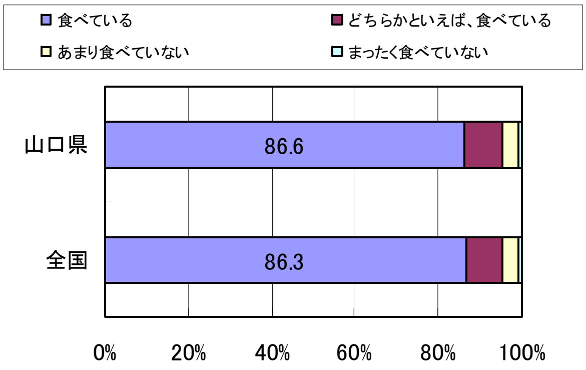
３　質問紙調査（児童生徒）の結果

（１）朝食

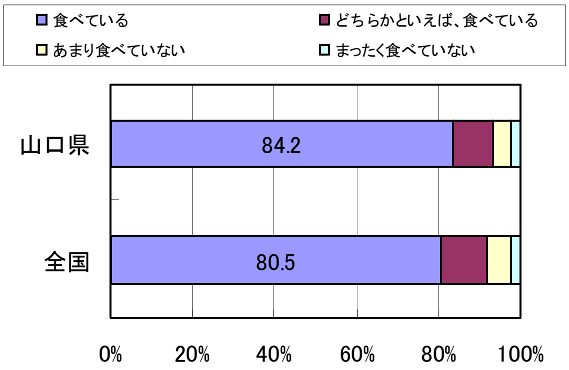
全国に比べると、朝食を毎日摂取する子どもの割合は、小学校は同程度、中学校はやや高くなっている。

＊質問１　朝食を毎日食べていますか。

【小学校】



【中学校】

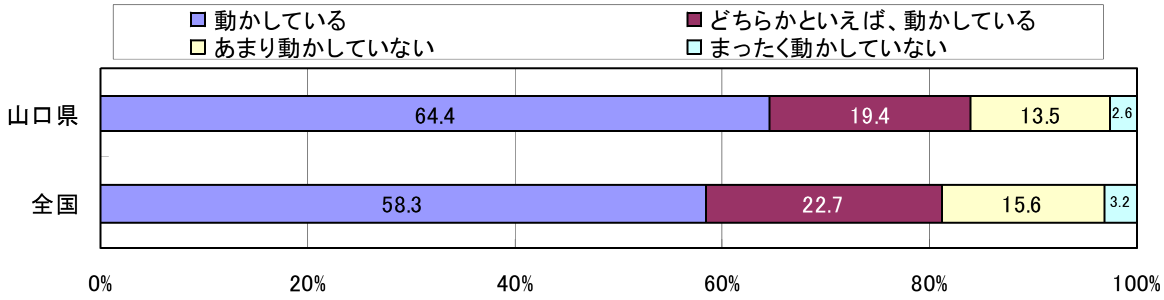


（２）外遊び・運動・スポーツ

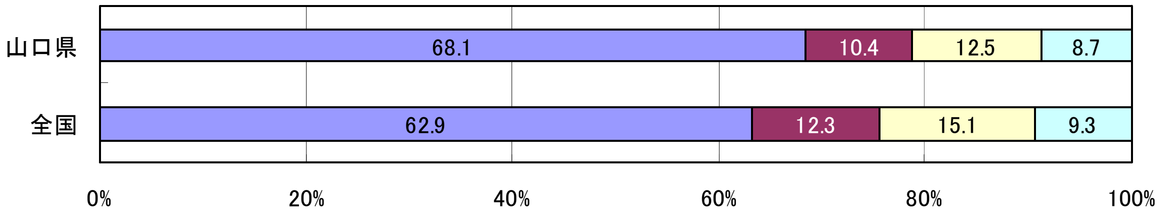
外に出て遊んだり、運動やスポーツをして体を動かしたりしている子どもの割合は、全国に比べて高くなっている。

＊質問８　外に出て遊んだり、運動・スポーツをして体を動かしたりしていますか。

【小学校】



【中学校】

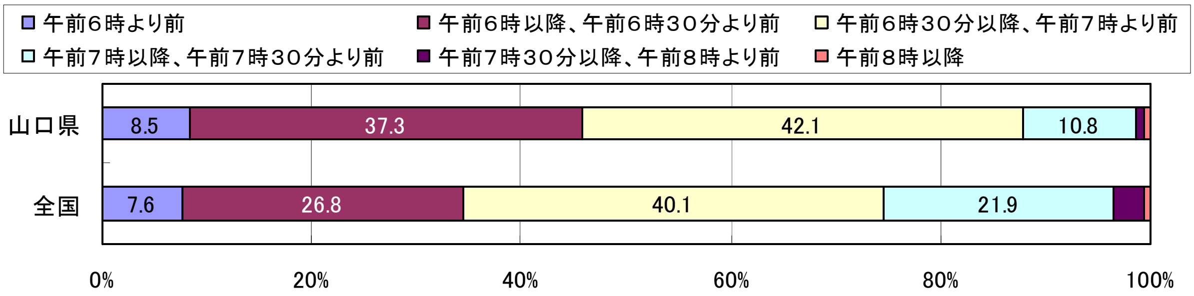


（３）起床時間

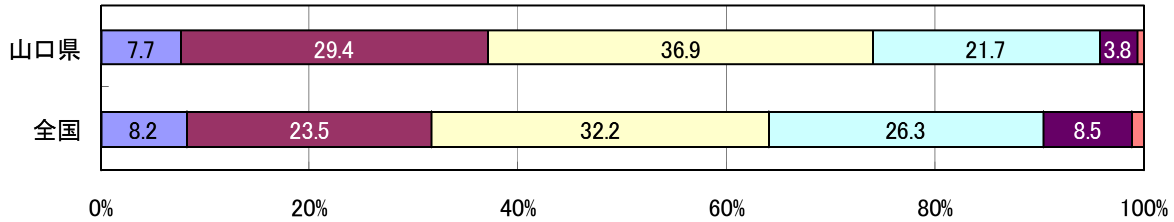
６時３０分以前に起きる子どもの割合は、全国に比べて高くなっている。

＊質問13　普段（月～金曜日）、何時ごろ起きますか。

【小学校】



【中学校】

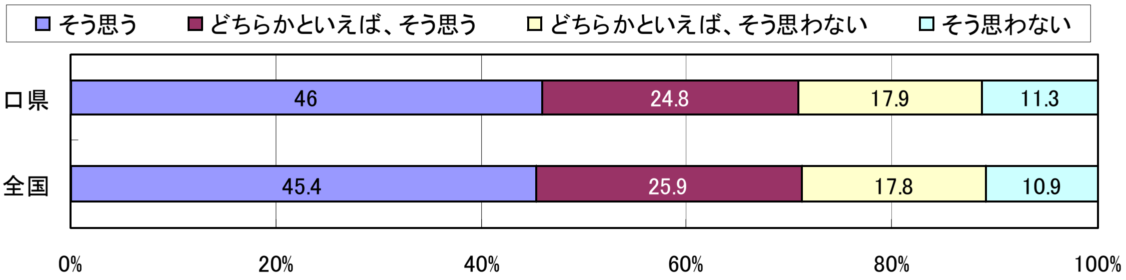


（４）読書

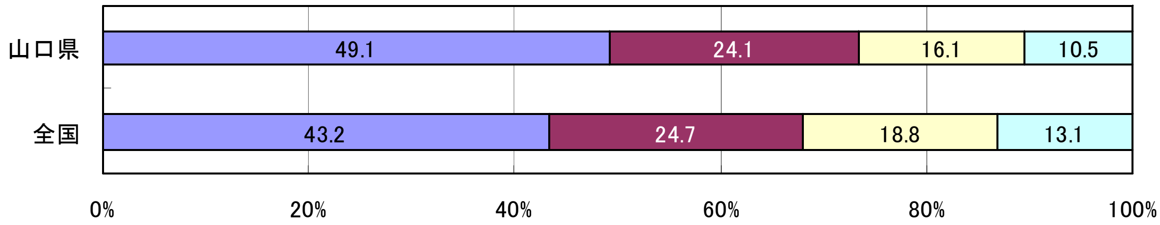
小学校は全国と同じ状況であるが、中学校では読書が好きな生徒の割合が、全国より高くなっている。

＊（小）質問71（中）質問73　　読書は好きですか。

【小学校】



【中学校】

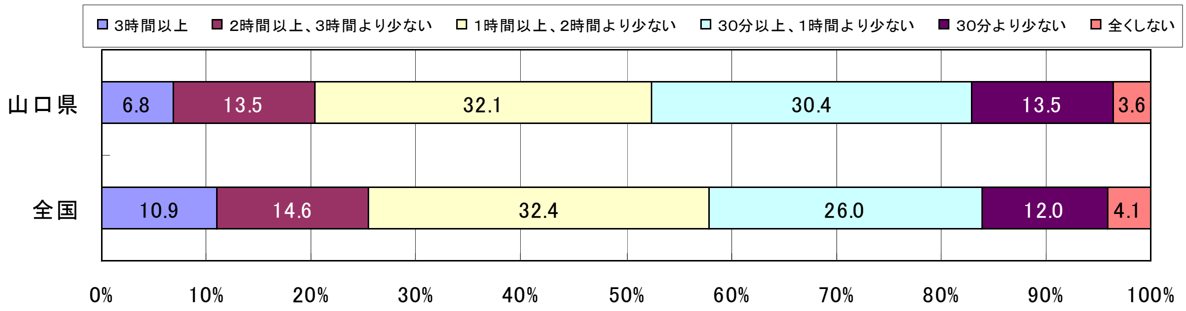


（５）学校の授業時間以外の勉強時間

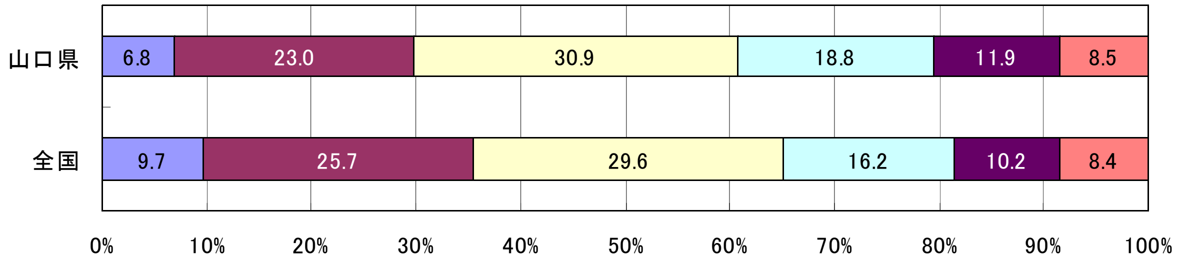
学校以外での学習時間は、全国に比べて少ない傾向にある。

＊質問21　学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

【小学校】



【中学校】

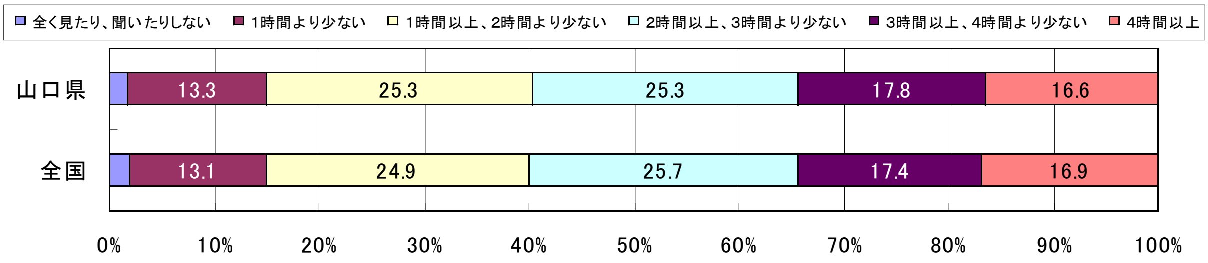
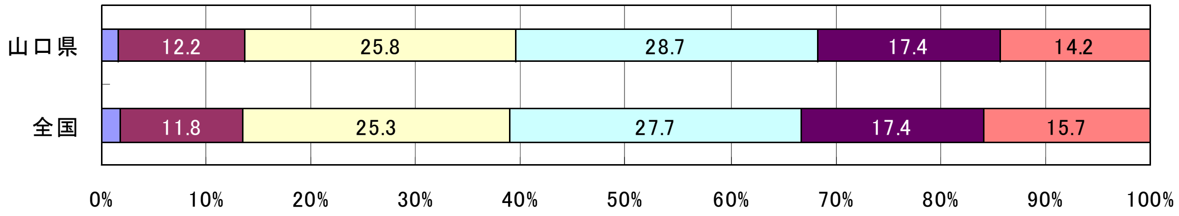


（６）テレビやビデオ・ＤＶＤの視聴時間

テレビやビデオ・ＤＶＤの視聴時間は、全国とほぼ同じ状況にある。

＊質問17　普段（月～金曜日）１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり聞いたりしますか。

【小学校】



【中学校】